

和歌山県

生協連ニュース

No.9

和歌山県生活協同組合連合会

〒640-8323 和歌山市太田三丁目10番10号 わかやま市民生協気付
TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649

和歌山県生協連

検索

<http://www.wakayamakenren.jp/>

2016年度 下期の活動紹介



0歳児からの音楽会

親子でコンサートに行こう!!

9月16日わかやま市民生協 E*KAOホールを会場に開催しました。今回で3回目、0歳から3歳の子どもとおとな、160名の来場者で賑やかなコンサートになりました。

『Wa.corda (わ・こるだ)』の演奏のもと、童謡「ぞうさん」、「いとまき」、「さんぽ」など誰もが知っている曲目が流れると、親子で口を大きくあけて歌っている姿が印象的でした。

「花のワルツ」、「トルコ行進曲」、「剣の舞」など大人向けのクラシック曲も演奏され、来場者全員が飽きることなく聞くことができました。来場者からは「大変貴重な機会でした。次回も楽しみにしています。」「とても良かったです。定期的にしてほしいです。」という嬉しい声を頂戴しました。



2017年度 和歌山県行政へ要望書を提出しました

毎年、県政の充実強化につながる施策提案や連携、会員生協の事業・運営に関する支援と理解促進を目的に要望書を提出しています。今年度も和歌山県環境生活部 日吉部長に上田会長理事から手渡しました。



第36回 生協まつり・第37回 労働者福祉まつりに参加しました



今年も生協まつりと労働者福祉まつりにブース出店し、県内の協同組合と生協連の活動を紹介しました。

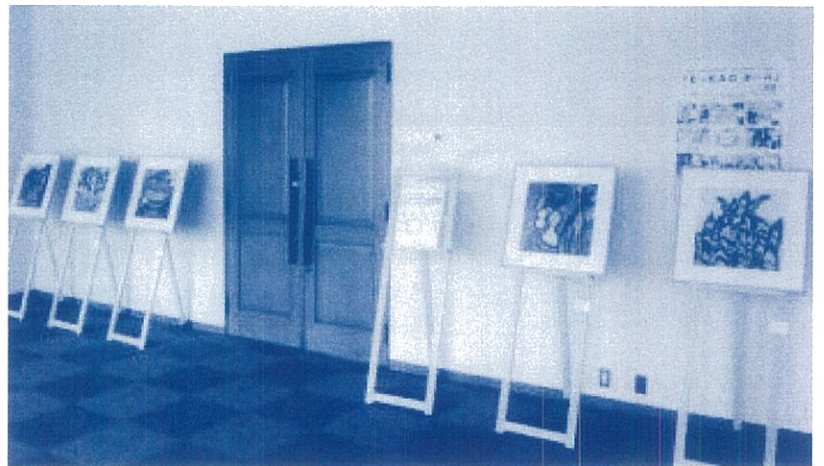
県農協連：柿・みかん販売
 県漁連：しらす、わかめなどの販売
 県森連：間伐材などを使った箸づくり
 県生協連：東北支援物品販売

近畿労働金庫「エイブル・アート近畿2016 ひと・アート・まち和歌山」を後援

近畿ろうきん／社会貢献プロジェクト・すまいるのとりにくみに協力しました。今年は和歌山県内、「たなべ会場」「わかちか会場」で実施されました。

わかちかアートギャラリーでの日替わりワークショップ、「アボロッサム」のみなさんによるジャンベ演奏（西アフリカ太鼓）、「ポズック楽団」によるライブパフォーマンスなど楽しい企画の中で、参加者同士の豊かな交流が生まれました。

会員生協の中でも、わかやま市民生協と和歌山中央医療生協（生協病院で）、生協まつりで「プライベート美術館」を展示しました。



「協同シンポジウム2016 in わかやま」を開催しました

共 催：近畿労働金庫和歌山地区統括本部

11月5日（土）、わかやま市民生協 E*KAOホール

参加：150人

テーマ：「将来を担う子どもたちに社会が今できること」

1部 基調講演 講師：湯浅 誠さん

2部 パネルディスカッション

～みんなでつくろう！子どもが健やかに育つ“共生社会”

パネラー：小山 正人さん（和歌山県労働者福祉協議会 常務理事）

高垣 幸代さん（わかやま市民生協 理事）

谷口 知美さん（和歌山大学教育学部准教授、

子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす代表）

山本 和秀さん（和歌山県福祉保健部福祉保健政策局子ども未来課 課長）



「子ども食堂 生きる希望に」
湯浅さん 貧困テーマに講演

子どもの貧困を考えるシンポジウム（近畿労働金庫和歌山地区統括本部、県生協連、和歌山県労働者福祉協議会、わかやま市民生協、E*KAOホール）で、約140人が参加した。

5日あった講演では、2008年の東京・日比谷公園の「年越し派遣村」で長丁場だった湯浅誠・法政大教授が話した。修学費や進学を、経済的事情だけでなく、将来の子どもについて、「交際関係から外れ、家庭がぐちゃぐちゃになる」と自己肯定感の低下を招き、精神的な不調を起し得る」と話した。

子どもを養ってもらう取り組みに挙げたのは「子ども食堂」。湯浅さんは「提供するのには食事に加



～くらし、文化の向上で平和ですみよい和歌山をめざして～ 「第26回 和歌山県生協大会」を開催しました

第26回和歌山県生協大会を、11月30日わかやま市民生協 E*KAOホールで開催しました。各会員生協から約80人参加しました。

■記念講演：「話せば分かる～達人レポーターの最強コミュニケーション術」と題して、はなまるマーケットのアナウンサーでおなじみの、庄司 麻由里さん（フリーアナウンサー）による講演。

聞き上手な人になりましょう、会話をはずませるコツは「常に次の話題は相手の中にある」、大勢の前で話す時に大切なこと「準備・想像力・緊張」がポイントと話されました。参加者からは早速実践してみますと好評でした。



「関西災害時物資供給協議会」設立に参画しました



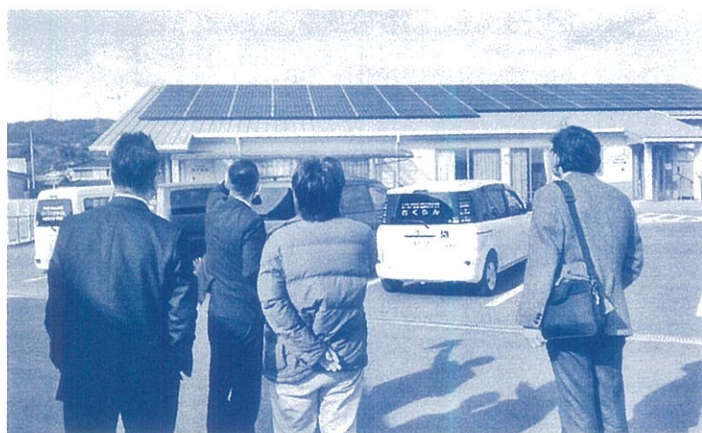
関西における災害時の実効性のある物資供給の実現にとりくもうとする行政機関（関西広域連合の府県他）や民間団体、事業者等による連携・協力組織として設立しようとするものです。

近畿の府県生協連とともに、和歌山県生協連、わかやま市民生協がこの協議会の設立に賛同し参画しました。

第9回 福祉活動交流会を実施しました

開催日時：2017年2月8日（水）

内 容：和歌山高齢者生活協同組合サービス付
高齢者向け住宅「やまぐちおたっしゃ館」
の見学と高齢者生協の福祉事業について
学びました。



第27回 通常総会 日程が決まりました

2017年6月27日（火） 14：30～16：00 わかやま市民生活協同組合 E*KAOホール

県内一斉クリーンウォーク in 和歌山 に参加しました



協同組合の連携を強化し、地域への貢献を目的に県内125カ所で、県生協連、県漁連、県森林、JAグループ和歌山、JA女性会の会員、役職員3200人が参加しました。

和歌山城には約80人が参加、外周や城内道路沿いのゴミを回収しました。終了後には、4協同組合が持ち寄ったおにぎりとお茶が配られました。

会員生協ボランティア活動支援助成しました

会員生協のボランティア活動を以下の活動分野で支援し、会員生協をととして地域社会への貢献をより広げることが目的にしています。今年度も、和歌山県学校生活協同組合の「福島っ子わかやまのびのび体験」と紀の国医療生活協同組合の「年末もちつき大会」に助成が決定しました。

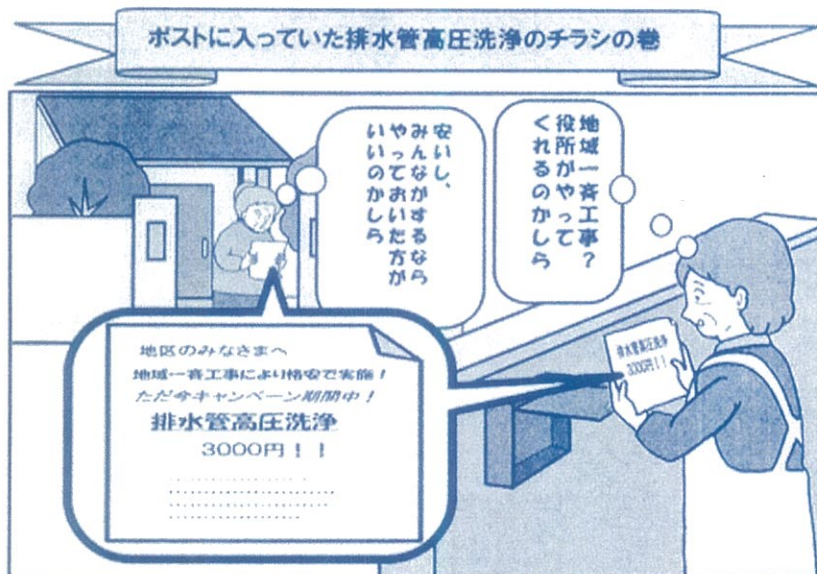
《申請対象となる活動分野》

- 福祉／身体障害・知的障害・精神障害者、難病・長期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かにするなどの活動
- 環境／自然保護、環境保全、リサイクル活動や環境保全に関する啓発などの活動
- 教育／子どもの健全育成、子育て支援などの活動
- 国際交流／留学生・研修生などの外国籍市民との交流、途上国への協力などの活動
- 災害／災害支援活動

※出典／平成29年3月和歌山県消費生活センター発行 より イラスト作成／鈴木 薫

ホットな消費者ニュース Vol.57

～ 消費者被害にあわないための最新情報をお届けします！～



和歌山県消費生活センター

和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ 和歌山ビッグ愛 8F
電話：073-433-1551
FAX：073-433-3904
(月～金)9:00～17:00
(土・日)10:00～16:00(電話相談のみ)
(祝日・年末年始を除く)

和歌山県消費生活センター 紀南支所

田辺市朝日ヶ丘23番1号
県西牟婁総合庁舎内
電話：0739-24-0999
FAX：0739-26-7943
(月～金)9:00～17:00
(祝日・年末年始を除く)

- 役所が業者に委託して、ご家庭の排水管洗浄を行うことはありません。
- ご家庭の排水管洗浄については、法的義務など特に決まりはないので本当に必要か、よく考えましょう。
- 安い料金の記載があっても、別の工事を勧められたり思わぬ高額請求になることもあるので、慎重に対処しましょう。

和歌山県生活協同組合連合会

和歌山中央医療生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合・わかやま市民生活協同組合
紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合・和歌山高齢者生活協同組合
泉南生活協同組合・日鉄住金和歌山生活協同組合・生活協同組合コープ自然派和歌山